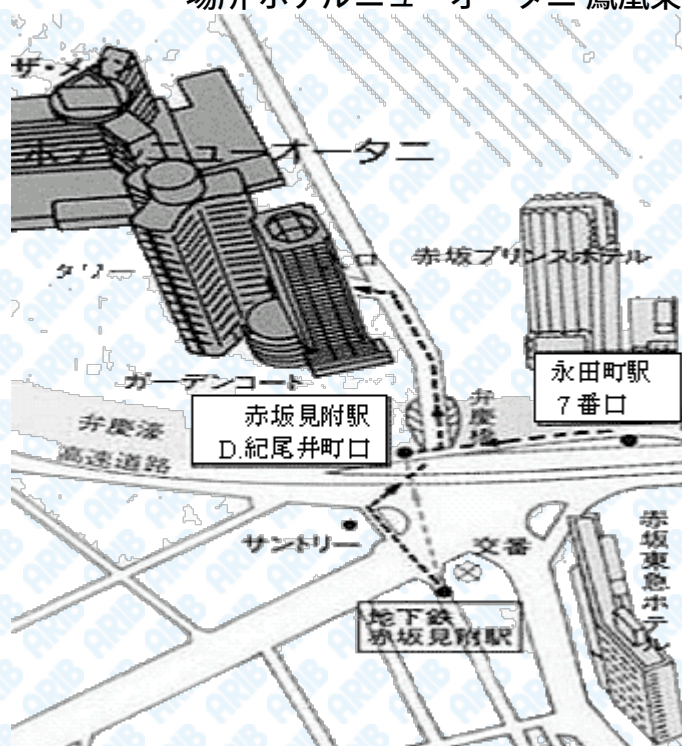


## 社団法人電波産業会 第17回通常総会の開催のお知らせ

会員の皆様には、先に文書でお知らせしましたが、第17回通常総会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

なお、同通常総会終了後、引き続き懇親会を開催いたしますので、併せてご出席ください。

- 1 日時 平成16年2月24日(火)午後4時30分から5時30分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ 鳳凰西の間 (タワー宴会場階)  
千代田区紀尾井町4-1 (電話 03-3265-1111)
- 3 議題
  - (1) 平成16年度の事業計画及び収支予算について
  - (2) IMT-2000 研究委員会規程の一部改正について
  - (3) その他
- 4 懇親会時間 午後5時30分から午後7時まで  
場所 ホテルニューオータニ 鳳凰東の間 (タワー宴会場階)



### 会場への行き方

- 地下鉄半蔵門線 / 南北線・永田町駅下車 徒歩3分
- 地下鉄丸の内線 / 銀座線・赤坂見附駅下車 徒歩3分
- 地下鉄有楽町線・麴町駅下車 徒歩6分
- 地下鉄丸の内線・南北線 / JR 中央線 / 総武線・四谷駅下車 徒歩8分

## 第52回規格会議が開催される

去る2月5日、第52回規格会議が東海大学校友会館(霞が関ビル)において開催されました。

今回は、次に掲げる標準規格の改定10件及び技術資料の改定4件について審議され、このうち13件が提案のとおり承認されました。

- 1 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定
- 2 デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定

- 3 デジタル放送におけるアプリケーション実行環境標準規格の改定
- 4 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定
- 5 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定
- 6 衛星デジタル音声放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）の改定
- 7 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定
- 8 BS/ 広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料の改定
- 9 実数零点単側波帯変調方式標準規格の改定
- 10 CDMA Cellular System 標準規格の改定
- 11 IMT-2000 DS-SS-SS-SS System 標準規格及び技術資料の改定
- 12 IMT-2000 MC-SS-SS System 標準規格及び技術資料の改定



第 52 回規格会議の様子

審議された標準規格及び技術資料の概要は次のとおりです。

### 1 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格（ARIB STD-B10 3.8 版）

① H.264 | MPEG-4 AVC の映像ストリームを MPEG2 Systems で伝送する際に使用する記述子の追加及びタグ値の割り当て、② H.264|MPEG-4 AVC 映像ストリームへのストリーム形式識別の割り当て、③ コンテント記述子におけるジャンル指定への「衛星デジタル音声放送用拡張」の追加及び「BS/ 地上デジタル放送用番組付属情報」への名称変更等を行った。

### 2 デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）（ARIB STD-B21 4.3 版）

共同受信が想定される地上デジタルテレビジョン放送用受信機の受信チャンネル範囲について、規定の明確化のための改定の提案が行われたが、質疑応答の結果、再検討することとなった。

### 3 デジタル放送におけるアプリケーション実行環境標準規格（ARIB STD-B23 1.1 版）

① MHP（DVB 策定）及び GEM（DVB-MUG 策定）の規格改定に伴う変更、② ARIB STD-B24 で規定されたモノメディア映像符号化方式などの規定追加、③ 規格構成の変更等を行った。



#### 4 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格（ARIB STD-B24 4.0 版）

データ放送における印刷機能に関連し、印刷制御機能及びメモリカードを介した印刷を想定してのメモリカードへの記録機能を実現するための放送用拡張関数を規定した。また、印刷対象データフォーマットとして XHTML 文書及び CCS を想定して運用ガイドライン等を記載した。

#### 5 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格（ARIB STD-B32 1.5 版）

音声符号化方式として現在規定されている MPEG-2 AAC 方式に、2003 年 12 月に ISO/IEC で承認された SBR 方式（SBR: Spectral Band Replication、周波数領域での帯域復元手法）を追加規定した。

これにより、（ハーフレートサンプリングの規定が無い BS/ 広帯域 CS デジタル放送を除く）地上デジタル音声放送、地上デジタルテレビジョン放送及び衛星デジタル音声放送で、この SBR 方式が使用可能となる。SBR 方式は低ビットレートで音声品質の向上が図れ、SBR48kbps で AAC60kbps と同程度の音質になると言われている。

なお SBR 方式は当面、衛星デジタル音声放送で使用することとなる。

#### 6 衛星デジタル音声放送用受信装置標準規格（望ましい仕様）（ARIB STD-B42 1.1 版）

携帯受信を行う受信装置についての規格追加、マルチチャンネルから 2 チャンネルステレオへのダウンミックス機能についての改定（デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格 STD-B32 の反映）、音声符号化方式の AAC-SBR 方式についての規格追加（STD-B32 の反映）等を行った。

#### 7 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料（ARIB TR-B14 1.6 版）

① SI 情報の受信機での利用に関して、出力機能、表示機能に対する制限事項の追加、② データ放送における印刷機能に関する規定追加、③ 試験放送等の定義追加及び検査放送時における TS 送出運用の追加、④ 事業者設備被災時の運用の追加等を行った。

#### 8 BS/ 広帯域 CS デジタル放送運用規定技術資料（ARIB STD-B15 2.9 版）

① データ放送における印刷機能に関する規定追加、② 有料放送番組における字幕、文字スーパーの課金の運用に関する規定の明確化、③ 自動表示メッセージ運用中に他のエラー表示が発生した場合の表示方法の記載追加、④ モデム発呼時における、接続確認に関するダイアログの表示規定の変更等を行った。

（9 項以降の改定された標準規格・技術資料の概要は次号に掲載します。）

## 編集後記

—鎌倉散策—

2 月に入り朝晩はまだまだ寒さが厳しいですが、日中の日差しはだんだん強くなり梅のつぼみも大きくなってきました。話はチョット古くなりますが、今年のお正月は大変暖かく過ごしやすかったので体こなしも兼ねて、家から鎌倉までハイキングコースを歩いてきました。

ハイキングの出発点である円海山（横浜市栄区）の峰には NHK の FM 用 ANT や NTT のパラボラ ANT が立っており、大変見晴らしのよい所です。ここからの富士山は丹沢連邦と重なり裾野が大きく広がってダイナミックな眺めが見られるため、

地元の人も多く見かけました。

ここを出発点に鎌倉までハイキングコースを約2時間ほど歩きます。途中には鎌倉カントリークラブや御茶屋さんもあり休憩を挟みながらノンビリと歩く事が出来ます。

鎌倉には初詣を兼ねて鎌倉宮と瑞泉寺を訪ねてみました。瑞泉寺は梅で有名な所です。鎌倉に縁の深い著名人の石碑も多く見かけました。寺は山懐の木々に囲まれたとても静かな所です。

これから2月末にかけては梅が見ごろになるそうです。暖かくなったら、ぜひもう一度訪ねて見たいと思っています。鎌倉に行かれた際には、一度訪ねて見ては如何でしょうか。

(編集子：S.E)